

SYLLABUS(後期)

授業科目	ビジネスマナーⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	仕事に対する姿勢やビジネス文書の基本事項、統計・データの読み方まとめ方等を学び、社会人として必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	社会常識を高める情報収集、分析①	新聞に必ず目を通し、効果的な運用を紙面構成を知って効率のよい読み方を						
2	社会常識を高める情報収集、分析②	マス・メディアを利用した情報の収集 インターネットの利用						
3	社会常識を高める情報収集、分析③	新聞記事の読み方						
4	表とグラフ①	数値の把握の大切さ 表とグラフの役割と重要性 表の特徴と形式 表を読むための基礎知識						
5	表とグラフ②	表と計数処理 用語に関する基礎知識 グラフを読むための基礎知識						
6	業種・業界の知識①	日本経済の基本構造 日本経済の発展過程						
7	業種・業界の知識②	さまざまな業種と最近の動き						
8	業種・業界の知識③	産業構造の変化と新しい産業 社会生活と価値観の変化						
9	会社の仕組みと売上・利益①	会社の3つの大きな特徴 売上と利益						
10	会社の仕組みと売上・利益②	新しい社会制度 会社の社会的な意義						
11	会社の仕組みと売上・利益③	組織を効率よく動かすための分業システム 組織はライン部門とスタッフ部門にわかれる						
12	会社の仕組みと売上・利益④	組織内における自分の役割を認識する 組織の一員として自覚しておきたいこと						
13	社会保険と税金①	社会保険は社会保障制度の根幹 健康保険・雇用保険・労災保険						
14	社会保険と税金②	国民年金と厚生年金 国税と地方税						
15	社会保険と税金③	所得税と住民税 将来の生活設計を考えたうえでの保険選び						
1 回配当時間	2 時間	1 コマ						
使用教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト							

SYLLABUS(後期)

授業科目	自動車整備		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	自動車の修理、分解、診断組立など自動車整備に必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	電気の基礎知識		電圧、電流、抵抗の関係 直流と交流、抵抗の性質、自動車の電気回路 サーキット・テストの活用					
2	電気の安全に必要な基礎知識		電気災害の種類、感電とは、 絶縁用保護具、負傷したときの処置 救急処置、関係法令					
3	ハイブリッド車の概要		ハイブリッド車の仕組みと種類 ハイブリッド車の特徴 ハイブリッド車用電池					
4	ハイブリッド車の概要		トヨタ・ハイブリッド・システム					
5	ハイブリッド車の概要		ホンダ・ハイブリッド・システム					
6	ブレーキ装置		概要 構造・機能（フット・ブレーキ（ドラム・ブレーキ））					
7	ブレーキ装置		構造・機能（フット・ブレーキ（ディスク・ブレーキ）、安全装置）					
8	ブレーキ装置		構造・機能（制動倍力装置、パーキング・ブレーキ） 整備					
9	フレーム及びボデー		1. 概要 2. 構造・機能（フレーム、ボデー、ボデーの塗装） 3. 整備					
10	電気装置		灯火装置 (1) 概要 (2) 構造・機能（ランプの光源、ヘッドランプ、テールランプ、 ストップ・ランプ、バックアップ・ランプ、ターンシグナル・ランプ）					
11	電気装置		灯火装置 (2) 構造・機能（ライセンス・プレート・ランプ、ハザード・ウォーニング・ ランプ、ヒューズ及びヒューズブル・リンク、リレー） (3) 整備					
12	電気装置		計器 (1) 概要 (2) 構造・機能（スピードメータ、エンジン・タコメータ、 ウォータ・テンパレチャ・ゲージ） (3) 整備					
13	電気装置		ホーン、ウインドシールド及びウインドシールド・ウォッシュヤ (1) 概要 (2) 構造・機能（ホーン、ウインドシールド・ワイパ、 ウインドシールド・ウォッシュヤ） (3) 整備					
14	電気装置		冷暖房装置 (1) 概要 (2) 構造・機能（冷暖房機能） (3) 整備 電気装置の配線 (1) 概要 (2) 配線、多重通信					
15	後期のまとめ		復習とまとめ					
1回配当時間	2時間		1コマ					
使用教科書	自動車整備士3級練習問題集シャシ、自動車整備士3級練習問題集ガソリン、 電気の基礎知識 電気の安全に必要な基礎知識 ハイブリッド車の概要、自動車整備実技教科書 改訂2版							

SYLLABUS(後期)

授業科目	自動車法規		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	道路運送車両法や自動車の保安基準など自動車整備に必要な知識を身に付けます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	道路運送車両法 (保安基準)		点検基準と保安基準、自動車の諸元の保安基準					
2	保安基準		第1条の用語集（長さ、高さ、幅） 告示第162条（空車状態）～第164条（安定性）					
3	保安基準		第8条（原動機）～第11条 告示第166条（電動機、動力伝達装置）～第170条					
4	保安基準		原動機及び動力伝達装置、施錠措置、（イモビライザー基準）					
5	保安基準		第12条（制御装置） 告示171条（ブレーキ装置）					
6	保安基準		第14条（緩衝装置）～17条の2（電気装置） 告示第173条（緩衝装置）～第177条（電気装置）					
7	保安基準		第18条（車枠及び車体）～18条の2（巻込み防止） 告示第178条～第180条（突入防止装置）					
8	保安基準		第20条（乗車装置）～第22条の3（座席ベルト等） 告示第182条～第186条（座席ベルト等）					
9	保安基準		第22条の4（ヘッドレスト）～第29条（窓ガラス等） 告示第187条～第195条（窓ガラス等）					
10	保安基準		第30条（騒音防止装置）～第31条（有害ガス防止装置） 告示第196条～第197条（有害ガス防止装置）					
11	保安基準		排気ガス基準（ガソリン、ディーゼル車、二輪車） 測定法、ディーゼルスモーク、ディーゼル規則					
12	保安基準		第32条（前照灯）～第33条（霧灯） 告示第198条～第199条（霧灯）					
13	保安基準		第34条（車幅灯）～第36条（番号灯） 告示第201条～第205条（番号灯）					
14	保安基準		第37条（尾灯）～第40条（後退灯） 告示第206条～第214条（後退灯）					
15	保安基準・後期法令まとめ		第41条（方向指示器）～第43条（警音器） 告示第215条～第219条（警音器）・上記まとめ					
1回配当時間	2時間		1コマ					
使用教科書	自動車整備技術法令教材							

SYLLABUS(後期)

授業科目	メカトロニクスⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	1年次に学んだ基礎的事項をもとにメカニズム、性能、安全性をさらに追及し、メカトロニクスの今後について考えます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	ガイダンス	授業方針と評価方法・メカトロの意義と応用例・制御工学との違い						
2	論理回路 1	基本5回路の表現方法をマスターする（論理式、MIG、真値表で表現する）						
3	論理回路 2	基本5回路の表現方法ができる（数学的論理式、タイムチャート、ベン図、シーケンス図で表現する）						
4	論理回路 3	ブール代数の公理を理解する（ $0 \cdot 0 = 0$ 、 $1 \cdot 1 = 1$ 、 $0 \cdot 1 = 1$ など）						
5	論理回路 4	ブール代数の定理を理解する（ $A \cdot B = B \cdot A$ 、 $A \cdot 0 = 0$ 、 $A \cdot A = A$ など）						
6	システム制御 1	制御対象をブロック線図で表しシステムのモデル化をする						
7	システム制御 2	多入力システムと多出力モデルの例題を考える						
8	ラプラス変換 1	ラプラス変換の定義を習得し変換表を使った問題を見る						
9	ラプラス変換 2	線形性を理解する						
10	ラプラス変換 3	因果性と非線形性を理解する						
11	伝達関数 1	定義の理解と応答性の関係及び種類の考察						
12	伝達関数 2	周波数伝達関数を理解する						
13	伝達関数 3	フィードバック制御におけるブロック線図の定義、要素、結合と簡略化をする						
14	論理式の簡略化 1	シーケンス制御における論理代数（カルノー図を理解する）						
15	論理式の簡略化 2	論理式をカルノー図で表現する						
1 回配当時間	2 時間	1 コマ						
使用教科書	生産システム技術、ハンディブック メカトロニクス							

SYLLABUS(後期)

授業科目	制御工学		年次	2年	前後期	後期	単位	2
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	冷蔵庫やエアコンは温度を一定に保つため、洗濯機は区切られた別動作を順番に実行するなど、制御方法は様々あります。制御に関する知識を習得します。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	ガイダンス		制御工学の意味と誤差と制約の違い					
2	制御とは		日常生活における制御を例題として制御システムを考える					
3	数学基礎		微分を念頭にした一次関数と二次関数の復習・微分を理解する					
4	数学基礎		微積分を理解する・複素数を理解する					
5	数学基礎		微分方程式の意義と応用					
6	制御用語		各種用語説明とブロック線図での使われ方					
7	古典制御		由来と歴史 使用システムと数学モデルの構造					
8	現代制御		由来と歴史 使用システムと数学モデルの構造					
9	静的システム		抵抗・ばねにおけるシステム例					
10	動的システム		台車・ばねマスシステムのけるシステム例					
11	線形・非線形		線形と非線形の相違・時変システムと時不変システムの説明					
12	ブロック線図		フィードバックとフィードフォワード制御とは・カスケード制御とは					
13	安定性		安定システムと不安定システムの違い（実例を考える）					
14	伝達関数		伝達関数の理解とラプラス変換（結合・変換の方法）					
15	ラプラス変換		システムのアナロジーとラプラス変換を理解し2階微分方程式をラプラス変換する					
1回配当時間	2時間	コマ	1コマ					
使用教科書	はじめての制御工学							

SYLLABUS(後期)

授業科目	流体・熱力学		年次	2年	前後期	後期	単位	2
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	熱によって動力が発生する原理を理解できるようにする							
成績評価の方法・基準	<p>成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。</p> <p>科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。</p>							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	はじめに	熱力学の課題 熱力学の発展の歴史と課題を理解する						
2	熱力学の基礎（1）	熱エネルギー・温度 熱エネルギーとは、測定の方法と単位 温度の単位、絶対温度の物理的意義						
3	熱力学の基礎（2）	比熱と圧力 比熱の意味、熱量との関係を理解する。圧力のさまざまな単位						
4	熱力学の基礎（3）	チャレンジ問題（p.17～） 問題を解き基礎的事項について理解を深める						
5	期間内試験	理解の程度を知り、今後の学習に生かす						
6	熱力学第一法則（1）	熱と仕事 熱と仕事の関係、エネルギー保存則について理解する						
7	熱力学第一法則（2）	可逆変化と不可逆変化 状態変化にはエネルギーの散逸現象が必ず存在することを理解する						
8	熱力学第一法則（3）	エンタルピー 内部エネルギー・流動仕事とエンタルピー						
9	理想気体の状態変化（1）	理想気体の状態方程式 理想気体と見なせる条件、状態方程式。定容比熱・定積比熱について理解する						
10	理想気体の状態変化（2）	チャレンジ問題（p.69～） 問題を解き基礎的事項について理解を深める						
11	期間内試験	理解の程度を知り、今後の学習に生かす						
12	熱力学第二法則（1）	一般サイクルの熱効率 熱機関における熱サイクルの意味、熱効率の理解						
13	熱力学第二法則（2）	可逆カルノーサイクル 可逆カルノーサイクルが最高の熱効率を得られる意味						
14	熱力学第二法則（3）	エントロピー・熱力学第二法則 エントロピーの物理的意味を理解する						
15	後期の総復習(試験)	授業内試験により後期全体の復習をおこなう						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	基礎から学ぶ熱力学							

SYLLABUS(後期)

授業科目	機械設計法		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	機械をはじめプラントから製鉄機械、造船などの設計業務に従事した実務経験を有す。							
教育目標	工業製品を作る手法について学び、機械製図に役立てます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科日期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	歯車		歯車伝動の特徴、インボリュート歯車、転位歯車、静かな歯車の工夫、標準歯車の強度について学ぶ。					
2	歯車		歯車の種類と用途、高い減速比を得る装置について学ぶ。 歯車についてまとめ。					
3	ベルトとチェーンによる伝動		ベルト・チェーン伝動の特徴、平ベルトによる伝動、Vベルトによる伝動、歯付き（タイミング）ベルトによる伝動について学ぶ。					
4	ベルトとチェーンによる伝動		チェーンによる伝動、ベルト伝動による無段変速装置について学ぶ。 ベルトとチェーンによる伝動についてまとめ。					
5	クラッチ、ブレーキおよび つめ車		クラッチ、かみ合いクラッチ、摩擦クラッチ、その他のクラッチについて学ぶ。					
6	クラッチ、ブレーキおよび つめ車		ブレーキ、つめおよびつめ車について学ぶ。 クラッチ、ブレーキおよびつめ車についてまとめ。					
7	前半まとめ		歯車からクラッチ、ブレーキおよびつめ車までについてまとめ、 試験により理解力を評価。					
8	リンク・カム機構		リンク機構、4節リンク機構、すべり対偶を持つ4節リンク機構、 平行・直線運動するリンク機構について学ぶ。					
9	リンク・カム機構		倍力装置、カム機構、間欠運動機構について学ぶ。 リンク・カム機構についてまとめ。					
10	ばね		ばねの種類、圧縮・引張円筒コイルばね、ねじりコイルばね、うず巻ばね、 重ね板ばねについて学ぶ。					
11	ばね		竹の子ばね、トーションバー、さらばね、空気バネについて学ぶ。 ばねについてまとめ。					
12	管、管継手、弁		管の種類と用途、管の選択方法、管継手について学ぶ。					
13	管、管継手、弁		弁の種類と用途、管路について学ぶ。 管、管継手、弁についてまとめ。					
14	後半まとめ		リンク・カム機構から管、管継手、弁までについてまとめ、 試験により理解力を評価。					
15	総まとめ		歯車、ベルトとチェーンによる伝動、クラッチ、ブレーキおよびつめ車、 リンク・カム機構、ばね、管、管継手、弁の重要ポイントまとめ。					
1回配当時間		2時間		1コマ				
使用教科書		機械設計法 第3版						

SYLLABUS(後期)

授業科目	機械製図Ⅱ		年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	機械をはじめプラントから製鉄機械、造船などの設計業務に従事した実務経験を有す。							
教育目標	J I Sに基づく手法により機械部品のより実用的な製図技術を習得します。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	トレース技能検定試験対策1	直前対策として、総合演習を行う。						
2	トレース技能検定試験対策2	直前対策として、総合演習を行う。						
3	基本製図復習1	直線主体の部品の製図演習を行う。 今までの演習の成果を確認する。						
4	基本製図復習2	曲線を含めた部品の製図演習を行う。 今までの演習の成果を確認する。						
5	ねじ製図応用	ねじ製図及びねじの表し方を復習し、 ねじの使われている組立図の製図演習を行う。						
6	ねじ製図応用演習1	ボルトやナットで組立てられた部品の製図演習を行う。						
7	ねじ製図応用演習2	ボルトやナットで組立てられた部品の製図演習を行う。						
8	歯車製図応用	歯車製図について座学による復習と製図演習を行う。						
9	歯車製図応用演習	歯車部品の製図演習を行う。						
10	ばね製図応用	ばね製図について座学による復習と製図演習を行う。						
11	サイズ公差及びはめあい 表面性状とその図示方法 幾何公差	寸法公差とはめ合いについて座学による復習と製図演習を行う。 表面粗さの種類、考え方、使い方を座学による復習と製図に応用演習を行う。 幾何公差の種類、考え方、使い方を座学による復習と製図に応用演習を行う。						
12	製図応用1	「豆ジャッキ」の製図演習から、組立図と部品図の関係を学ぶ。						
13	製図応用2	「豆ジャッキ」の部品図製図演習を通して、習得した製図法を確認する。						
14	製図応用3	「豆ジャッキ」の組立図製図演習を通して、習得した製図法を確認する。						
15	まとめ	機械製図の応用を総復習する。						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	JISにもとづく機械製作図集 第7版、過年度既出試験問題集2級/3・4級、 新編 JIS機械製図 第5版							

SYLLABUS(後期)

授業科目	3DCAD実習Ⅱ		年次	2年	前後期	前	通年	通	単位	16
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○		
実務経験内容	自動車メーカーでCATIA業務に従事した実務経験を有す。									
教育目標	「CATIAV5」を自在に扱い、デザイン、組立、開発に関する図面を立体的に描き、3次元CADの技術を習得します。									
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。									
回数	題 目		授 業 内 容							
1	後期の授業内容／前期の復習 アセンブリー・デザイン1		後期の授業内容／前期の復習／アセンブリー概要（アセンブリーとは、アセンブリー・デザイン・ワークベンチ）／コマンド説明（ファイル作成～保存管理、拘束、操作、展開）／演習1／準1級試験対策							
2	アセンブリー・デザイン2		コマンド説明（SUB-ASSY、柔／剛サブアセンブリー、干渉、セクション、距離、1Part化）／演習2／準1級試験対策							
3	アセンブリー・デザイン3		コマンド説明（非パラ、外部参照、パワーコピー）／演習3／準1級試験対策							
4	アセンブリー・デザイン4 第1回テスト（アセンブリー）		演習4／テスト対策 テスト（アセンブリー）／準1級試験対策							
5	ドラフティング1		テスト解説／ドラフティング概要（ドラフティングとは、ドラフティング・ワークベンチ）／コマンド説明（投影図、寸法、図面枠、ドレスアップ、印刷、断面図、拡大図など）／演習1／準1級試験対策							
6	ドラフティング2		コマンド説明（部品表、組図など）／演習2／テスト対策 ／準1級試験対策							
7	ドラフティング3 第2回テスト （ドラフティング）		演習3／テスト対策／テスト（ドラフティング）／テスト解説 ／準1級試験対策							
8	モデリング計画立案／ モデリング実習1		チーム分け、リーダー選定、席替え、モデリング計画立案、 モデリング計画表&部品表作成、作成ルール決めなど モデリング実習1、各チームごとに単品作成スタート／準1級試験対策							
9	モデリング実習2		モデリング実習2 ／準1級試験対策							
10	モデリング実習3／ 第1回モデリング試験、解説		モデリング実習3／ モデリング試験、解説							
11	モデリング実習4／ 第1回中間報告&計画修正		モデリング実習4／ 中間報告（進捗状況報告書&問題点抽出→計画修正作成、提出）							
12	モデリング実習5		モデリング実習5							
13	モデリング実習6／ 第2回モデリング試験、解説		モデリング実習6／ モデリング試験、解説							
14	モデリング実習7／ 最終報告／発表準備		モデリング実習7（完成予定）／最終報告（最終報告書作成、提出）／ パワーポイント機能説明、演習／コマンド説明 （キャプチャ、プリントスクリーン）／チームごとに発表資料作成／発表練習							
15	発表／レポート作成 後期のまとめ／期末試験対策		チームごとに発表／レポート作成 後期のまとめ／期末試験対策							
1回配当時間		8時間	4コマ							
使用教科書		JISにもとづく機械製作図集 第7版、CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブック								

SYLLABUS(後期)

授業科目	自動車整備実習Ⅱ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	自動車整備職としての実務経験を有す。							
教育目標	実車を用いガレージジャッキの取扱いからエンジンの分解・結合、各種部品の測定等を行い、自動車整備士の力を身につけます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	実車整備点検実習法定点検	実車にて各装置及び部位名称（エンジン、シャーシ、車体、電気装置） （プリウス・ローレル）						
2	実車法定点検整備実習	6カ月及び12カ月点検整備、道路運送車両法に基づき点検記録簿にて、点検・整備 （プリウス・ローレル）						
3	実車法定点検整備実習	6カ月及び12カ月点検整備、道路運送車両法に基づき点検記録簿にて、点検・整備 （プリウス・ローレル）						
4	実車法定点検整備実習	6カ月及び12カ月点検整備、道路運送車両法に基づき点検記録簿にて、点検・整備 （プリウス・ローレル）						
5	油脂交換実習	オイル、フィルタ交換、ローレルデフオイル交換デファレンシャルオイル交換 （ローレル）						
6	冷却水交換実習	冷却系統点検・整備（ラジエーター漏れ点検、キャップ機密点検、 冷却水交換サーモスタット作動）						
7	サスペンション	ストラット脱着（ローレル）						
8	ホイールアライメント	トーイン測定、調整、キャンパ、キングピン、キャスタ測定（ローレル）						
9	ブレーキ装置	実車ブレーキフリード交換、ライニング&パッド脱着残量確認、 サイドブレーキ調整（ローレル）						
10	エンジン調整HV/OBD点検	エンジン調整と電子制御部分診断（30項目）作動確認OBDⅡによるHV診断						
11	ボディー	フード、バンパー、グリム、ヘッドライト、テールランプ、脱着（ローレル）						
12	内装	ドア内張り、シート脱着（ローレル）						
13	ステアリング（実車&単体）	パワーステアリング部（ラック式）、ポンプ分解、組み立て機能確認						
14	アクスル&デファレンシャル （単体）	アクスルよりデファレンシャルを分解、デファレンシャル分解組立て						
15	整備実習Ⅱまとめ	後期整備作業確認とまとめ						
1 回	配当時間	4 時間	2 コマ					
使用教科書		自動車整備士3級練習問題集シャーシ、自動車整備士3級練習問題集ガソリン、 電気の基礎知識 電気の安全に必要な基礎知識 ハイブリット車の概要、自動車整備実技教科書 改訂2版						